

ナマズの知恵袋

平成23年(2011年)7月1日
編集・発行 滋賀県立図書館

東日本大震災をうけて・・・

平成23年(2011年)3月11日は日本にとって、忘れられない日になりました。

14時46分頃に、東北地方でマグニチュード9.0の観測史上最大の地震が起きました。被災地の皆さまには、謹んでお見舞い申し上げます。

今回は、過去におきた地震について調べるための資料を紹介するとともに、この夏私たちに求められている節電に関する資料もあわせてご紹介します。

日本で起きた地震を調べる

『昭和災害史事典』全6巻 日外アソシエーツ編・刊 1995年 [R-2107-1~6]

第1巻から第5巻は、昭和2年から昭和63年までの災害関係情報が年表になっています。災害別や、都道府県名からも調べることができます。

また、第6巻は総索引になっており、五十音順で項目から引けるようになっていきます。地震の項目は、日付順で引くことができます。平成元年からの災害関係情報は、『平成災害史事典』日外アソシエーツ編・刊 [R-2107-2]で、現在平成20年までの3冊が刊行されています。

『朝日新聞縮刷版東日本大震災』朝日新聞社著・刊 2011年 [G-3693-ア]は、朝日新聞3月12日朝刊~4月12日夕刊の震災関連紙面などを収録。今回の震災の基礎資料ともなるべき一冊。

世界で起きた地震を調べる



『世界災害史事典』1945-2009 日外アソシエーツ編・刊 2009年 [R-3693-2]災害の発生年月日順に掲載。災害別一覧・国・地域別一覧からも調べることができます。

過去の地震経験を現在に生かす

『地震・噴火災害全史』災害情報センター・日外アソシエーツ編 日外アソシエーツ 2008年 [R-4532-サ]

過去に起きた55の地震や噴火の背景・概要・被害の特徴を解説。地震・噴火災害一覧では、416年から2007年8月までの1847件の災害がコンパクトに解説されています。参考文献も多数紹介されています。

滋賀県で起こった災害を調べるには

『滋賀県災害誌』 滋賀県総務部・彦根地方気象台編集 滋賀県 1966年 [S-3600-1]

古代から昭和40年までの風水害・雪害・干ばつ・雷害・地震・資料編で構成されています。

以下、**続編** (昭和41年~昭和52年)、**第3部** (昭和53年~昭和62年)、**第4部** (昭和63年~平成10年)まで刊行されています。

滋賀県の取り組み



滋賀県庁のHP **滋賀県防災ポータル**

(<http://www.pref.shiga.jp/bousai/index.html>)

では、滋賀県防災情報マップや災害時に役立つサイト・気象情報が調べられます。

また、滋賀県では、メールでしらせる、しがの安全・安心情報「**しらがメール**」で防災・防犯等の身の回りの危険に関する情報を、電子メールで配信しています。あらかじめユーザ登録していただくと、お手持ちの携帯電話やパソコンに情報が届きます。また、地上デジタル放送がご覧いただけるテレビでは、NHK 大津やびわ湖放送のデータ放送から一部の情報をご覧いただけます。情報が届くシステムが、6月1日より開始されていますので、どうぞご利用ください。



地震予測や活断層などについての資料は、ナマズの知恵袋第8号で。



家庭でオフィスで、さあ始めよう！ 何をしたらいいかわからないというあなたへ。



本でじっくり研究する。

◆エコ生活のヒントを探してみる

『スローライフな時代の暮らしの事典』

家の光協会編・刊 2004年 [G-5904-イ]
ジャンル別や五十音順索引つき。

『水の節約&エネルギーの節約』

シアン・ベリー著 ガイアブックス 2009年
[Y-5170-へ]50の節約方法を紹介。シリーズで『外出・旅行先でCO2デトックス』[3-6800-へ]も。

◆とにかく夏を乗り切るぞ

『賢いエアコン活用術』 北原博幸著 技報堂出版
2003年 [G-5282-キ]

効果的なエアコンの使い方とは？

『週刊東洋経済 6323号 特集：最悪の夏をこう乗り切る！「電力欠乏」全対策』

2011年4月30日発行 [P]

『サライ 139号 特集：日本の夏涼の知恵』

1995年6月15日発行 [P]

◆自然の力を有効利用

『緑の屋根、緑の壁』建築ジャーナル刊 2002年
[G-5188-ミ]

屋上・壁面緑化されている建築物を紹介。

『緑のカーテンの育て方・楽しみ方』 緑のカーテン応援団編著 創森社 2009年

[G-5951-ミ]

ゴーヤを例にして、窓一面分の緑のカーテンのつくり方をわかりやすく解説。

『都会でできる雨、太陽、緑を活かす小さな家』

中臣昌広著 農山漁村文化協会 2009年
[G-5270-ナ]

雨水利用、太陽光発電、古材の利用など小さな家に自然力をもりこんだ暮らしを提案。

『わが家ではじめる太陽光発電』 太陽光発電所ネットワーク編合同出版 2004年 [G-5437-タ]

18の“家庭発電所”の例を紹介。これから太陽光発電を始めたい人へのQ&Aも。

インターネットで情報を集める。

滋賀県の取り組みをチェック！

(<http://www.pref.shiga.jp/a/kikaku/2011setsuden.html>)

「夏の節電クールアクション 2011」家族そろってクールライフを楽しむ工夫を紹介。家族そろって県内の図書館や美術館、博物館へおでかけ！

環境省のHP (<http://www.env.go.jp/>) を見てみる。

チャレンジ 25 (<http://www.challenge25.go.jp/index.html>) として、様々なエコ生活スタイルを提案中。1つからでも始めてみてはどうでしょう。



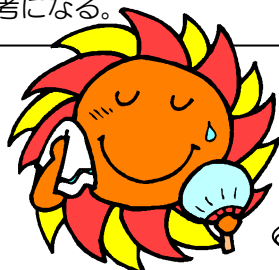
エネルギーについて考える。

今の暮らしを見直すために、私たちはどれくらいエネルギーを使っているのか調べてみましょう。

『家庭用エネルギーハンドブック 2009年版』 住環境計画研究所編・刊 2009年 [R-5016-シ]

家庭用エネルギー消費の推移を中心に世帯、家計、住宅、設備等に関するデータがまとめられています。

『資源エネルギー年鑑 2011』 資源エネルギー年鑑編集委員会編 通産資料出版会 2011年 [R-5016-シ] や『省エネルギー便覧 2010年度版』 省エネルギーセンター編・刊 2010年 [R-5016-シ] なども参考になる。



とはいえ、熱中症にはご注意ください！

過度な節電は危険です。『知って防ごう熱中症』

田中英登著 少年写真新聞社 2008年 [G-4931-タ] やナマズの知恵袋第26号を参考に元気に夏を乗り切りましょう。